

【開催概要】令和6年度「道北ロジスク」

北海道開発局では、共同輸送・中継輸送の実現に向けて、「北海道流」物流マッチングモデル『ロジスク』を令和5年度より開始しました。

名寄市において道北方面の物流課題解決を見据えた第2回「道北ロジスク」を共同輸送・中継輸送実装研究会（事務局：北海道開発局、名寄市、名寄商工会議所）、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道の共催により、開催しました。

※「ロジスク」とは『ロジ』スティクスを『スク』ラムを組んで『スク』スク育てていくという思いを込めた造語です。

- 1 日時 令和6年9月24日（火） 13時30分～17時00分
- 2 場所 名寄市民文化センター 多目的ホール（名寄市西13条南4丁目2）
- 3 出席者 物流に課題を抱える物流事業者や荷主企業（39の企業、団体等から54名が出席）

4 内容

①ワークショップ（マッチング）

事務局があらかじめ指定した4社程度のグループに分かれて、30分ごとのローテーションを4回実施し、交流・意見交換。

②交流時間（フリートーク）

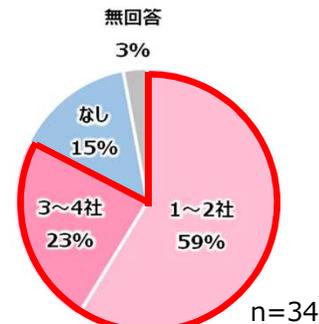
参加企業、団体等の中で自由に交流できる時間を設定。



ワークショップの様子と集合写真

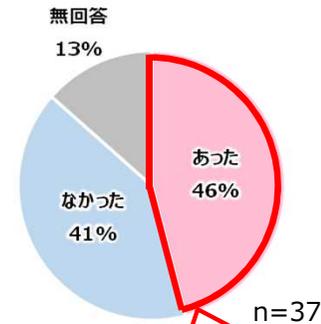
5 参加企業へのアンケート結果

Q. マッチングに向けた話が出来た企業は何社ございましたか？



約8割がマッチングに向けた話ができたと回答

Q. マッチングできそうな企業はございましたか？



半数近くの回答者がマッチングできそうな企業が「あった」と回答

Q. 今回のロジスクを通じて実現しそうな取り組みはございましたか？



参加者の声

- ・同じ目的をもって情報共有ができ、得るものが多かった。各ワークショップごと前向きな話ができただ。
- ・さっそく、ロジスクで出会った企業様から連絡があった。その他企業様とも、今後、前向きな話ができればと期待している。
- ・当社は今回初めてロジスクに参加した。北海道は地域柄、輸送範囲が広大であるが、道北・道東・道南方面や日高方面の過疎地域への輸送では、今後、十分な輸送量が確保できない場合がある。そのような背景から、共同輸送や帰り荷の活用の可能性を探るため、今回の道北ロジスクに参加した。
- ・無論、一筋縄では解決しない問題であることは承知しているが、本日は非常に有意義な時間を過ごすことができた。今後、相談をさせていただく企業様が多々いると思われる。